

学習の単元		ワークシート内容
学習活動と学習内容	主な学習内容	
①昔の道具	・昔の道具に興味をもつ。	ワークシート① 昔の道具 ・クイズ形式にして、昔の道具に興味を持つ。 ・昔の道具を見て、どのように使うかを想像する。 ・今使っている道具は昔はどんな道具だったのかを考える。 【ワークシートのねらい】 ・昔の道具に興味を持つ。昔の道具を見て、どのように使うかを想像する。 ・昔の道具から、電気がなかった時代のくらしを考える。
②学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう	・昔と今のくらしの違いをもとに学習問題をつくる。	ワークシート② 昔のくらしと道具 ・360度映像を見て、使っていた道具とくらしを知る。 (あんどんと白熱電球・洗濯板と電気洗濯機・かまどと自動式電気釜・和文タイプライターと日本語ワードプロセッサ) 【ワークシートのねらい】 ・昔の道具がどのように使われ、どのようなくらしをしていたのかを知る。 ・電気がなかった時代の大変さ、家電ができたことで便利になった様子を知る。
③郷土資料館をたずねて	・昔の暮らしの様子（電化前）を捉える。	ワークシート③ 日本の1号機の道具 ・東芝未来科学館の中で、指定の道具をさがす。道具を見て、今の道具とのちがいを、気づいたことを書く。 (道具の名前・登場した時期・気づいたこと) (道具は、電気洗濯機・電気冷蔵庫・カラーテレビ・自由に選択) 【ワークシートのねらい】 ・東芝未来科学館の「1号機ものがたり展示」見学し、昔の家電を体感する。 ・昔の暮らしの様子（電化前の不便な生活を便利にした様子）を捉える。
④昔のくらしをインタビューする	・昔の暮らしの様子（電化製品などを使っていた頃）に着目し、当時の暮らしを捉える。	ワークシート④ 昔のくらしインタビュー ・お家の人に、子どものころのくらしをインタビューする。今のくらしとのちがいを、教えてもらう。 (くらし・子どものあそび・学校・その他) 【ワークシートのねらい】 ・昔の道具、昔のくらしを知る。 ・今と、昔のくらしの違いを知る。
⑤かわってきたくらし	・同じ用途の道具の変化に着目し、人々の暮らしの変化について話し合う。	ワークシート⑤ かわってきたくらし ・今の道具がどのように変化したか、昔の道具との組合せをさがす。 (時間軸は、現代・昔・もつと昔) (道具は、洗濯機・エアコン・明かり・電話) ・道具から、その時代のくらしの様子を考える。 【ワークシートのねらい】 ・エアコン・洗濯機・スマホといった道具から、人々の暮らしの変化を考える。 ・今まで調べた道具や聞いた話から、人々の暮らしの変化を考える。
⑥[まとめ]道具とくらしのうつりかわり	・道具の変化と暮らしの変化をまとめて、その移り変わりを年表にまとめ、わかったことを話し合う。	ワークシート⑥ 年表を作ってみよう！ ～道具とくらしのうつりかわり～ ・「道具」と「くらしの様子」を年表にまとめ、その移り変わりを知る。 ・「道具カード」「くらしヒントカード」を切り貼りして年表を完成させる。 【ワークシートのねらい】 ・道具が変わることで、人々の暮らしがどのように変化したのかを考える。 ・今まで調べた道具や聞いた話を年表にまとめて、変化をまとめる。